

日本気象学会1996年度春季大会の告示

1. 期 日：1996年5月21日(火)～23日(木)
2. 会 場：大宮ソニックシティ (埼玉県・大宮駅前)
3. 研究発表

口頭またはポスターによる。口頭発表は4会場に分かれて行う。ポスター発表は「ポスター・セッションの方法」(次ページ)による。

「気象予報技術」のテーマでスペシャル・セッションが開催される。発表方法は口頭発表に準ずる。

講演申込方法については「講演申込要領」(下記)参照。

4. シンポジウム

大会第2日(5月22日)に開催予定。テーマは雷雲に関するものを計画中。

5. 大会参加費、懇親会費

郵便振込による前納または当日受付による(前納用の振込用紙は本号末尾に挿入)。大会当日は混雑しますので、極力前納するようお願いします。

金額は以下の通り。

大会参加費：

| | 一般会員 | 学生会員 | 会員外 |
|-----|--------|--------|--------|
| 前 納 | 2,000円 | 1,000円 | — |
| 当日払 | 2,500円 | 1,500円 | 2,500円 |

懇親会費：

| | 一般会員 | 学生会員 | 会員外 |
|-----|--------|--------|--------|
| 前 納 | 4,000円 | 2,000円 | — |
| 当日払 | 5,000円 | 3,000円 | 5,000円 |

なお懇親会は大会第2日(5月22日)夕刻に開催予定。

講演申込要領

1. 発表の種類

(1)講演方法には、口頭発表とポスター発表の2種類がある。

(2)このうち口頭発表には、第1種講演と第2種講演の2種類がある。

・第1種講演(発表5分、質疑2分)：発表内容には特に条件はない。

・第2種講演(発表10分、質疑5分)：よくまとまった段階にあり、論文等の形で査読制度のある刊行物に投稿済み、または1996年9月までに投稿予定の研究を発表する。

このため、第2種講演の申込には以下の要件が必要である。

(a)予稿には、1章を設けて明確なまとめまたは結論を書く。

(b)申込用紙には、研究を印刷発表する刊行物名(予定でも可)を書く。

講演企画委員会は予稿をチェックし、第2種講演に申し込まれたものが上記の要件を満たさないと判断した場合には、第1種講演に振り替える。

なお印刷発表予定の研究であっても、中間報告・速報の性格が強いものや、すでに第2種講演として発表された研究の補足の性格を持つものは、第2種講演の対象にはならない。

2. 発表件数の制限

口頭発表・ポスター発表・スペシャルセッションそれぞれ、1講演者について1件以内とする。この制限に抵触する申込があった場合には、講演企画委員会が適切に処置する。

3. スペシャル・セッションの扱い

スペシャル・セッションに申し込まれた発表については、世話人が予稿を審査し、スペシャル・セッションでの発表を認めるかどうかを判断する。発表方法は口頭発表に準ずるが、世話人の判断により、講演持ち時間について若干の変更があり得る。

スペシャル・セッションに申し込まれた発表が、世話人によってスペシャル・セッションに適さないと判断された場合には、一般の口頭またはポスター発表に回す。この場合には、上記2の件数制限が適用される。

従って、スペシャル・セッションに申込をする場合には、一般の口頭またはポスター発表へ回された場合の発表方法の選択を(この結果、上記2の件数制限に抵触する場合には、発表の優先順位も)、申込用紙の欄外に記入しなければならない。

4. 申込方法

(1)本号末の申込用紙に記入し、予稿集原稿を添えて下記宛先に送付する。

〒305 茨城県つくば市長峰1-1

気象研究所予報研究部内

講演企画委員会(藤部文昭)

スペシャル・セッションに申し込む場合は、予稿集原稿と申込用紙のコピー各1部を添付する。

(2) 申込期限：1996年3月6日(水) 必着、ただしスペシャル・セッションは1996年2月28日(水) 必着。

5. その他

(1) 講演者索引を作成するため、申込用紙には講演者

の姓名とそのローマ字表記を明記して下さい。

(2) 第2種講演については、なるべく予稿の本文にも印刷発表(予定の)刊行物名を書いて下さい。第1種講演やポスター発表についても、成果を印刷発表する予定であれば、予稿本文への記載をお願いします。

ポスター・セッションの方法

1. ポスター・セッションは大会第1日(5月21日)夕方に行う予定であるが、講演件数が多ければ他の日時にも行う。全体の時間は約1時間で、この間は口頭発表は休憩とする。
2. 各講演者は、指定された会場で概要紹介を行った後、ポスターの前で説明を行う。
3. 概要紹介の持ち時間は1分で、OHPを1枚だけ用いることができる。
4. ポスターの掲示場所は当日指定する。ポスターの掲示・撤去は、講演者自身が行う。なお掲示に必要な鋸またはテープは、事務局で用意する。
5. ポスターには講演題目・講演者名を明記しておく。
6. 掲示板は縦90cm×横180cm程度である。なおポスターは大きな紙1枚に書く必要はなく、小さい紙に分けて書いたものを当日並べても良い。

スペシャル・セッションのご案内

スペシャル・セッションは、あるテーマに関心を持つ会員同士が、研究分野の枠を超えて交流する機会を設けるために、1988年から始まったものです。一般の大会発表と同様、会員はどなたでも講演を申し込みます。

ただし、プログラム編成の際に世話人の意向を取り入れるため、申込期限が一般講演よりも約1週間早くなるとともに、予稿と申込用紙のコピーを同封して頂くこととなりますので、ご注意ください(締切は前ページ「講演申込要領」参照)。

一般の口頭発表と同様、申込用紙には第1種・第2種講演の希望を記入して頂きますが、世話人の意向により、講演種目を変更したり、一般セッションに振り替えたりすることもあります。

1. テーマ：気象予報技術
2. 趣旨：

これまで気象予報技術の検討は主に気象庁部内で行われ、学会で行われることは多くありませんでした。しかし、気象予報士制度の発足により、気象庁内だけ

に限らず、広く学会の場で議論されることは、気象予報技術の向上につながると同時に、気象学会の発展に寄与するものと考えます。

このセッションでは、気象予報技術を広く捉え、現象の予測から、防災情報としての活用まで、また情報伝達からディスプレイ表示まで、多彩な内容を期待します。

3. 世話人：丸山健人(気象研究所予報研究部)、
木村龍治(東京大学海洋研究所)

このセッションへの講演申込みをご検討中の方をはじめ、関心をお持ちの方は、下記までご連絡いただくと好都合です。ニュースレターをお送りします。とくにポスター発表、ビデオ発表のご希望については、会場とプログラム編成の都合上あらかじめ世話人までご相談下さい。

連絡先：丸山健人

〒305 茨城県つくば市長峰1-1

気象研究所予報研究部

Tel. 0298-53-8638, Fax. 0298-53-8649

非会員の大会講演について

ここ数年、気象学会の春・秋の大会では、会員でない人が講演を行う例があります。

気象学会の定款では“会員は、次の特典を有する。(中略) 2. この法人の催す各種の学術的会合に参加す

ること。”(第8条)となっており、その中には当然、大会における講演も含まれます。その一方、細則では“講演企画委員会または大会委員会が承認した場合は、会員でない者も、学術的会合において講演を行うことができる”(第12条)と規定されています。しかし、“承認”の手順の具体的な規定はなく、講演企画委員会は非会員による講演の実態を把握していません。

講演企画委員会では、非会員の大会講演は望ましくないと考えます。しかし、短期滞在の外国人の立場等を考慮すれば、ある程度容認せざるを得ないとも考えられます。今後実態をつかんだ上で、会員各位のご意見を参考にしながら、非会員の講演について“承認”の具体的な規定を作っていくと考えています。こ

の件についてのご意見を、講演企画委員会(事務局は気象研究所・藤部)までお寄せ下さい。

次回の春季大会の措置は、以下のようになります。

1. 非会員による講演の実態を把握するため、講演申込用紙に会員番号の記入欄を設ける。
2. 共著者の中に会員が含まれていれば、非会員の講演を認める。

なお上記の措置は、あくまでも暫定的なものであり、次回以降も継続されるものではありません。講演企画委員会としては、大会発表を行いたい人には会員になって頂くよう望みます。

1995年12月 講演企画委員会

講演予稿集原稿の書き方

大会発表を申し込む会員は、以下の要領で予稿集原稿を作成し、本号末の申込用紙とともに講演企画委員会へ送付して下さい。

1. 原稿枚数：1件1枚
2. 用紙：本号末の予稿用紙、またはB4判あるいはA4判の白紙あるいは薄青色方眼紙を使う。原稿はそのまま写真製版され、B5判に縮小して印刷される。
3. 記入方法：用紙に直接書くか、別の用紙に書かれた文書・図表を貼る。
4. インク：墨または濃い黒色インクを使う。ワードプロセッサのインクが薄い場合には、コピーしてから使用する(インクが薄いままだと、字がかすれたり、方眼紙の網目が浮き出たりする場合があります)。

5. 配置

予稿用紙を使用する場合

1行目に標題を書く。標題が長ければ2行目も使う。

3行目に著者名と所属(勤務先等)を書く。所属は、カッコに入れる。著者が複数の場合には講演者の左肩に*をつける。必要に応じて4行目も使う。

5行目以下に本文を書く。本文は2段組にし、左半分→右半分の順に書く。

B4判用紙を使用する場合(付図参照)

記載範囲は縦 305 mm 以内×横 215 mm 以内とし、上部には 20 mm 程度の余白をとる。予稿用紙の場合と同様、最上段に標題、その下に著者と所属

を書き、本文をその下につける。標題から本文までの間隔は 25~30 mm とする。本文はなるべく2段組(左半分→右半分)にする。

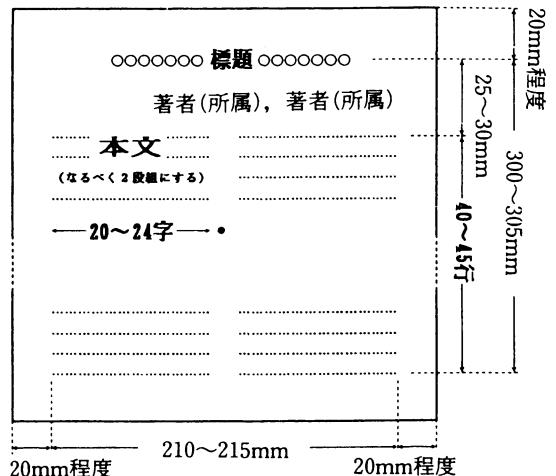
その他の寸法や本文の字数・行数は、厳密に付図の通りでなくてもよい。

A4判用紙を使用する場合

記載範囲は縦 250 mm 以内×横 175 mm 以内とし、上部には 20 mm 程度の余白をとる。その他の寸法はB4判の場合の8割程度を目安とし、全体のレイアウトはB4判の場合と同様とする。

6. 図および表

墨または濃い黒色インクで、用紙の枠内の任意の箇所に直接描くか、白紙または薄青色方眼紙に描い



B4判用紙による予稿原稿の作成要領。

て枠内に貼る。写真や図等には折り返しが入らないようにする。階調のある写真はうまく出ません。

7. 著作権：予稿集に掲載された文章および図表の著作権は日本気象学会に帰属する。

8. 送付先・送付期限：「講演申込要領」（864ページ）参照。なお、予稿集原稿を細かく折りたたまないで下さい（2つ折りは可）。

研究会活動への援助について

講演企画委員会では、大会期間中またはその直前・直後に会員が自主的に運営する研究会活動に対し、一般の会員が自由に参加できることを条件として、可能な援助をします。具体的には、大会プログラムへの掲載、会場・機器の手配、時間の調整などが考えられます。支援を希望する方は、右記の事項を明記の上、講演企画委員会へ申し込んで下さい。

申込先・申込期限：大会講演と同じ

- 記入事項：1. 会の名称とテーマ
2. 代表者の連絡先
3. 希望日時・開催場所
4. 予想参加人数
5. 希望する支援内容

大宮へのご案内

大宮での大会開催は今回が初めてです。会場の大宮ソニックシティは JR 大宮駅から近く、立派な施設を備えています。大宮駅周辺の宿泊施設は必ずしも豊富とはいえ、ご不便をおかけすることがあるかも知れません。今のところ、会期中に大きな行事は予定されていませんが、行事が重なると宿泊施設が確保できなくなることもあると思われますので、早めに予約されることをおすすめします。会場は3日間4会場とも21時30分までの使用が可能ですので、evening seminar、研究会などにご利用いただけます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

気象学会大宮96事務局

〒164 中野区南台 1-15-1

東京大学海洋研究所海洋気象部門気付

TEL 03-5351-6523

FAX 03-3377-3395

交通案内

大宮ソニックシティは JR 大宮駅（在来線・新幹線共）、東武大宮駅から徒歩4分と大変便利なところに位置しています。大宮駅までの所要時間は以下の通りで

す。

<東京駅から>

◇東北・山形新幹線で26分。

◇山手線・京浜東北線で上野駅まで8分。上野駅からは下記参照。

<上野駅から>

◇東北・山形新幹線で20分。

◇高崎線で27分。

◇京浜東北線で40分。

<新宿駅から>

◇埼京線快速で32分、普通で40分。

<柏駅から>

◇東武野田線で70分。

宿泊案内

大宮駅周辺のホテル・旅館は以下の通りです。ご希望のホテル・旅館の予約がとれなかったときは、大宮観光案内所（電話048-644-1144）（毎日9時30分～18時）にお問い合わせ下さい。なお、宿泊料は1995年10月1日現在のものです（改訂される場合があります）。

| 名 称 | 交 通 | TEL 048- | FAX 048- | 宿泊料 (サービス料共, 税込) | |
|---------------|------------|-------------|-------------|------------------|-------------------------|
| | | | | S シングル | T ツイン |
| a パレスホテル大宮 | JR 大宮駅西口 | 徒歩 5 分 | 647-3300 | 645-0430 | S 10,500 T 18,000 |
| b マロウドイン大宮 | JR 大宮駅西口 | 徒歩 3 分 | 645-5111 | 645-3922 | S 7,700 T 12,360 |
| c ホテルメイン | JR 大宮駅西口 | 徒歩 3 分 | 648-8886 | 648-7667 | S 7,500~8,500 T 13,000 |
| d ビジネスインウエスト | JR 大宮駅西口 | 徒歩 1 分 | 648-8800 | 649-1800 | S 8,000, 9,000 T 13,000 |
| e パイオランドホテル本館 | JR 大宮駅東口 | 徒歩 3 分 | 648-0010 | 648-4015 | S 7,000~8,000 T 13,000 |
| f パイオランドホテル新館 | 東武野田線北大宮駅 | 徒歩 5 分 | 648-0011 | 648-0044 | S 4,900 T 9,000 |
| g 大宮公園ホテル | 東武野田線大宮公園駅 | 徒歩 1 分 | 648-0012 | 648-4121 | S 5,400 T 9,000 |
| h ホテル大宮 | JR 大宮駅東口 | 徒歩 1 分 | 643-1800 | 643-1847 | S 6,700~ T 13,400 |
| i 大宮国体記念会館 | 東武野田線大宮公園駅 | 徒歩 3 分 | 643-1515 | 644-3721 | 和 6,000~ |
| j 川崎旅館 | JR 大宮駅東口 | 徒歩 7 分 | 641-0513 | | 5,300 (朝食付) |



第24回気候影響・利用研究会のお知らせ

シンポジウム

気候変動とその影響に関する国内関連機関の取り組み

日 時：平成 8 年 3 月 1 日 13 時～17 時

場 所：気象庁第一会議室

連絡先：国立環境研究所地球環境研究グループ

増田啓子 (TEL. 0298-51-6111 ext. 392)

プログラム

- 気候監視・予測に関する最近の話題
伊藤朋之 (気象庁気候変動対策室)
- 環境庁の気候変動研究への取り組み
楠 昌司 (環境庁地球部)
- 気候変動の実態と気候予測の問題点
米谷恒春 (防災科学技術研究所
気圏水圏地球科学研究部)
- わが国の農業への影響
清野 裕 (農業環境技術研究所
気象管理科)
- 地球温暖化に伴う地域気候変化シナリオ
加藤央之 (電力中央研究所大気物理部)

